

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 画像再構成法の違いによる肺切除解析アプリケーションソフトを用いた術前 3D-CT Angiography の描出精度に及ぼす影響

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 鈴木千晶 (画像診断部・診療放射線技師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2021年8月

本研究は後ろ向き研究として、肺切除解析を行った連続20症例の画像データを再度、元データより異なる画像再構成法 (4方法) を構築します。これらの画像を用いて画像解析システムに搭載されたアプリケーションソフトにて画像再構成法の違いによる肺葉分離、腫瘍、肺動脈、肺静脈の自動抽出精度を比較し、肺切除解析に最適な画像再構成を把握することを目的とします。

■ 対象となる患者さん

2021年3月から2021年5月までに当院で肺切除術の手術前に造影CT 検査を行い、肺切除解析を行った連続20症例

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、体重、病歴に関する情報 (肺腫瘍の位置) 等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

鈴木千晶 画像診断部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971